

李セロンさん

LEE SAEROM

香川大学創造工学部
造形・メディアデザインコース
助教・博士（工学）

「感性」を分析して新たなものを生み出す トライ&エラーで挑戦し続ける日々



▶ 人間の心の動きとものづくりを結ぶ分析家

私の専門は情報工学。特に色や音などに対する心の動き、目には見えない「人間の感性・イメージ」をデータとして翻訳し、頻出パターンなどを分析する「感性工学」の研究を大学院からずっと続けています。感性工学は海外でも「KANSEI」表記で、日本発祥なんです。私たちは分析家なので、ものづくりをする側・データ化する側の間に立って、新しいものづくりにつなげる橋渡し役。感性工学を活かした商品のアイデアだけでなく、行政や観光業界とタイアップして、公共スペースで展開するプロジェクトも増えてきました。よりスケールの大きいものづくりに貢献できそうで、ワクワクしているところです。



▶ 理系女子は韓国でもレア…

韓国でも理系の女子は少なく、私の頃も博士課程まで進む人はほとんどいませんでした。でも私は小さい頃から数学が大好きで、解けないと泣きながらも問題を解決していく過程が何より楽しかったんです。数学のように明確な答えがない研究の道は、あの頃の「問題解決のプロセスを楽しむ」延長なのかもしれません。女性であり外国人でもある私にいろんな活躍の場を与えてくれる今の大学の環境にも、大いに支えられています。

▶ 失敗が成長を導く！

私は今まで、一発でうまくいったことが一度もありません。進路に悩んで就職活動もしましたが、すべて最終審査で落ちてプライドはどん底、「失敗しまくって軌道修正すればいいんだ」とやっと思えたのが博士課程の頃でした。今も失敗ばかりですが、大切なのは新しいことに挑戦しつづける姿勢。今の私が学生たちに「トライ&エラー」を説くのは、そういう経験があるからです。大学の先生っぽくない先生でいい、学生たちとフラットに楽しみながら一緒にやっていくのが私のスタイルです。

Profile

韓国・富川生まれ。国立ソウル科学技術大学工学部在学中、交換留学生として室蘭工業大学で1年過ごして感性工学に興味を持ち、卒業後は同大学院へ進学、2013年に修士号、2017年に博士号を取得。博士研究員（ポスドク）を経て松江高専で教員を務め、2020年11月から現職。

▶ 生き物に癒やされる休日

水族館や動物園が大好き。人間と違う身体構造を持つ生き物への感動が何よりのヒーリングです。いったん研究を忘れて頭をゼロにするのも、いい仕事をする上では欠かせません。



中高生への Message

「理系に進みたいけど苦手科目が…」と悩む人も多いでしょうが、受験勉強はラインを超える手段に過ぎません。工学部はものづくりのための分野で、いろんなことに「なぜ？」と疑問を持つ姿勢が一番大事。「ものづくりへの興味」と「好奇心」があるなら、たとえ不得意な科目があっても勇気を持ってぜひ理系へ！トライ&エラーを繰り返して、やりたいことにチャレンジしてください。

創造工学部
造形・メディアデザインコース

モノやメディアは、人の暮らしのために存在します。つまり「こんな暮らしがいいな」を支えるもの。デザイン思考で発想し、夢の暮らしを自由に想像し、創造していきましょう。

